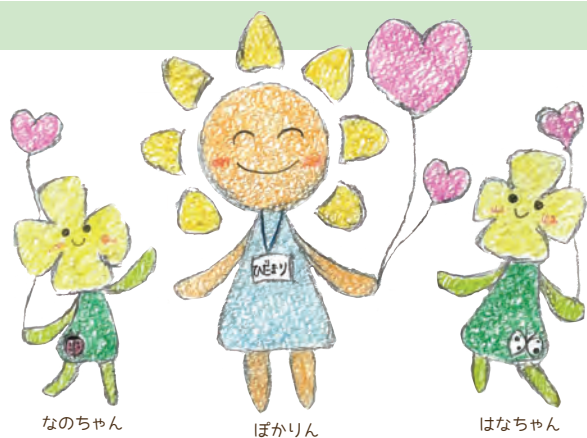


ひだまり ニュース



2024年
春号



令和5年度 中核地域生活支援センター連絡調整会議



令和6年2月9日（金）、南房総市三芳農村環境改善センター大会議室において、令和5年度中核地域生活

事業報告では、千葉県から受託している事業、①中核地域生活支援センター事業、②障害者グループホーム等支援事業、鋸南町から受託している③生活困窮者自立支援事業の3事業について報告しました。

支援センター連絡調整会議（以下、会議という）を開催しました。会議は、安房健康福祉センター 中核地域生活支援センター連絡調整会議運営要綱に基づき開催され、安房健康福祉センター長をはじめ各関係機関の方々22名に参加していただきました。会議では、令和5年度の中核地域生活支援センターひだまりの事業報告と伴に会議の目的である安房圏域の地域課題の整理と情報共有が関係機関との間で行われました。

令和5年度は、長く続いた新型コロナウイルス感染症が5月に5類となり、with コロナ・after コロナとして、社会と繋がりにくい方への支援に様々な工夫・改善を要求された1年でもありました。ようやく3年間のコロナ禍から通常の生活へ戻り始め、これを受けて、ひだまりが目指している「つながり」を持てるように、対面での相談やイベントを再開出来ました。活動の機会も増え相談内容を踏まえた提案もより相談者の意に答えることが可能となりました。やはり対面での活動が重要であることを改めて感じました。

ここでは、①中核地域生活支援センター事業の昨年度までに最も多かった相談件数の「障害者」分野を超えた「その他関係」について紹介します。主な相談内容は、貧困、引きこもり、就労問題、家庭環境等から様々な問題に対する相談です。共通する要因として地域の中で繋がりにくい方が必要な支援を受けられないという問題があります。自分に必要な支援は何か、どこへどのような申請をすれば良いのか確認するのが難しい、理解できない等が見受けられます。ひだまりでは、相談を受け、適切なサービスを見出し、申請等の支援をしています。また、地域で繋がりにくい方を対象とする居場所づくり通称「あつまり」を行っており、開始から2年半になります。参加されている方は、まさに「繋がりにくい」という問題を抱える方です。

活動内容は、カードゲームやボードゲーム、昔の遊び、工作、散歩等です。ほとんどの方が慣れるにつれて、表情が和らぎ、スタッフとの会話だけでなく、参加者同士との会話も増えて楽しんでいる表情が見受けられます。やはり繋がりにくい方も、誰かと繋がりたい、社会と繋がってみたいのだと実感することができます。今後もこのような機会を持てるようイベント等の企画・運営を行ってまいります。



社会福祉法人
太陽会

千葉県中核地域生活支援センター

ひだまり

ひだまりは、千葉県からの委託で社会福祉法人太陽会が運営しています。

2024.4.30 発行（不定期発行）

この広報紙に関するお問い合わせは…

☎ 0470-28-5667 まで

第 1 回重層勉強会

令和 5 年 11 月 26 日（日）、安房 3 市 1 町の各高齢者支援課を中心に構成される安房地域包括ケア連絡会の場をお借りして、ひだまり主催の「第 1 回重層勉強会」を開催しました。事例検討では各市町の関係各課、社会福祉協議会の実務者が参加し、複合的な課題を抱える家族への支援について、各専門的分野の視点から活発な意見が飛び交いました。



制度の狭間に陥る課題については、分野の枠を超えて「こんなことができればよいのに」と想像力を膨らませる場面もありました。このように「いつもと違う次元（層）に想いを巡らせる」時間を皆で重ねられたら…重層支援体制づくりには様々な課題もありますが、安房の重層支援の形が浮き上がってくるのではないのでしょうか。勉強会後のアンケートでは、継続的な勉強会開催の希望が多く聞かれました。令和 6 年度も重層勉強会開催を企画致しますので、ご期待ください！

高次脳機能障害普及啓発活動 ～ドキュメンタリー動画上映会～

亀田リハビリテーション病院が地域支援拠点機関である高次脳機能障害支援普及事業では、2 月 17 日（土）に動画上映会を行いました。

上映前には家族会、B 型作業所、障害者就業・生活支援センター等による販売会等も行われ、賑やかな雰囲気でした。その後は高次脳機能障害、高次脳機能障害支援普及事業の説明等があり、メインイベントのドキュメンタリー動画「あなたの笑顔を覚えていたい」が上映されました。



この動画は、事故による後遺症として、高次脳機能障害を患った女性が悩みながらも子育てと向き合っていくという大変貴重な内容でした。高次脳機能障害といっても記憶障害、注意障害、社会的行動障害等、症状は様々で、本人はもちろん、家族や友人を含めた周りの人も大きな戸惑いがある中でも、その後の生活を立て直していく事への可能性を再確認することができました。

上映後には関係事業所の紹介も行い、ひだまりの活動紹介も行いました。また、全体での質疑応答場面では、参加したご家族の方の質問に家族会代表が答える等、大変有意義な時間でした。ひだまりは、南房総高次脳機能障害家族と支援者の会「なんぼーこーじ」にも参加しています。高次脳機能障害について何かお困りごとがありましたら、遠慮なくご連絡ください。

ひだまり職員紹介



栖原 千智（すはら ちさと）

前列左から 4 番目

2023 年 11 月から、太陽会と鉄蕉会の人事交流第 2 弾として、亀田総合病院総合相談室から出向しています栖原 千智（すはら ちさと）と申します。

病院勤務では、関わる機会がなかった支援機関の方々との出会い、地域からみた医療機関との関わり方の違い、中核ならではの 24 時間 365 日ワンストップで分野横断的、伴走型支援の難しさを経験する等、新たな学びを得る日々です。

多島 一嘉（たじま かずよし）

後列 2 番目

多島 一嘉（たじま かずよし）と申します。2023 年 12 月 1 日にひだまりへコーディネーターとして入職しました。現在、64 歳です。

趣味は、ゴルフ、マラソン、家庭菜園、料理など多趣味です。これまでは、国際航空貨物業界の営業職で 30 年近く勤務していました。28 の国・地域へ出張し、さまざまな異文化やその国の人それぞれの価値観の違いに触れることができ、自分自身の考え方にも多くの刺激と変化がありました。今回、コーディネーターとして安房圏域の地域の皆さまと新たな出会いが出来ることを楽しみにしております。

障害者グループホーム等支援ワーカーだより

安房地区の新規グループホームを紹介します！

どちらも完全バリアフリー。
吹き抜けで空間が明るく、心地よいグループホーム。

ゆり庵株式会社 〒294-0054 千葉県館山市湊385-1 お問い合わせ:0470-22-5511

GH 青い鳥

定員 4 名(女性限定)



GH ひかり

定員 4 名(男性限定)



第 5 2 回 千葉県障害者グループホーム講座



・今年度、県のGH連協では、専門的な支援が必要で、GHでの対応が難しいとされる『医療的ケア、強度行動障害、入居者の高齢化』と3つのテーマに分け、それぞれ研究班を作り、実際に受け入れているGHの視察を開始しました。昨年まで、東葛、北総、南総と3つの大きな圏域に分けて企画、実施していたGH講座も、今年は研究チームごとに講座を企画しました。第52回GH講座は、強度行動障害、入居者の高齢化と言う2つのチームの合同開催(YouTube)となり、数多くの方達にご視聴頂きました。今回の講座は第一弾として、視聴者の皆様に関心を深めて頂く事からスタートし、GHがその地域で暮らす為の選択肢になるようこれからも発信し続けていきます。

～ グループホームの晩ごはん ～

障害があっても地域の中で自分らしく生活していくために、安房圏域には現在、障害者グループホームが沢山あります。このコーナーはそれぞれのグループホームの夕食のメニューを、“隣の晩ごはん”形式(知人ぞ知る)で紹介しています。

今回は【株式会社あおば グループホームそよかぜ・こもれび・こもれび川崎・こもれび長須賀ⅠⅡⅢ】

の7人の世話人さんの料理を紹介します。



- ・五目炊き込みご飯
- ・肉団子と野菜の汁物
- ・塩鯖焼き
- ・玉子豆腐
- ・豚肉キャベツの味噌炒め
- ・菜花と油揚げのおひたし



- ・お味噌汁
- ・豚バラ肉とキクラゲ
- ・卵の中華炒め
- ・海老とブロッコリーのマヨネーズ焼き
- ・ひとくち奴
- ・フルーチェ
- ・ポテサラ



- ・ご飯
- ・お味噌汁
- ・ハンバーグのホワイトソース仕立て
- ・タラモサラダ
- ・玉こんにゃくの田楽味噌和え
- ・みかんゼリー



- ・ご飯
- ・お味噌汁
- ・すき焼煮
- ・チャプチェ
- ・小松菜と白滝のごま和え
- ・白菜漬物



- ・お味噌汁
- ・海鮮鮓かけ焼きそば
- ・麻婆豆腐
- ・餃子
- ・サラダ
- ・シュークリーム



- ・ホタテの炊き込みご飯
- ・お味噌汁
- ・鮭の西京焼き
- ・カブとワカメの酢の物
- ・マグロとアボガドの和物
- ・ミニカステラ



- ・ご飯
- ・ワカメと卵の煮麺スープ
- ・天麩羅
- ・肉じゃが
- ・パイナップル



あつまり

ひだまりでは、誰かと繋がることの大切さや安心を感じてもらうために、性別・年齢・障害を問わず、居心地の良い場を目指して2021年より『あつまり』と称し居場所づくりを開催しています。

参加する皆さまが居心地が良いと感じて頂ける場を目指し、楽しいひとときを過ごして頂ける様、隔月開催をしております。場所は毎回、館山コミュニティーセンター（中央公民館）1階です。

ひだまりが定期的に地域の皆さんと居場所づくりの一環として開催している「あつまり」についての報告です。
2023年12月5日（火）、2024年2月29日（木）の2回開催しました。12月5日は、工作として「スノードーム」を9名で作りました。ガラス瓶の底にサンタクロースの人形や木を接着剤で着け、雪に見立てたキラキラの粉と水を入れてから瓶の蓋を締めひっくり返すと出来上がりです。

皆、接着剤がうまく着かないな～、など悪戦苦闘の表情があり、楽しくも真剣な工作の時間を過ごしました。



その後は、テーブルごとにカードゲーム、ジェンガなどに我を忘れて楽しみました。

UNOは、カードの指示を誤って思い込み、「え！そうなの～」でゲームに負けてもにこやかな表情が変わらない、皆さんに感激しました。

2月29日（木）は、ひな祭り前ということで「ひな人形」づくりを12名で楽しみました。特に顔の表情をペンで書き込むのが難しく、「あれ！おかしい顔になっちゃった？」等のいろいろな声があちらこちらから聞こえて、かなり皆が真剣になっているのが印象的でした。

最後に完成したひな人形の写真を撮ると「いい感じ！！」と、皆さん満足気でした。今後も楽しい時間が過ごせるように企画してまいります。



今後も楽しい時間が
過ごせるように
企画してまいります。



ひだまり掲示板

ひだまりからのお知らせ

ひだまりでは、子どもや障がい者、高齢者といった枠を取り払い、一人ひとりの状況にあわせて、公的機関、民間事業者、福祉グループなどが行なう様々な福祉サービスのコーディネートや、福祉の総合相談、権利擁護活動等をおこなっています。

ご相談は24時間・365日体制で受け付けています。ご相談方法は、電話やメール、ご自宅へ訪問、ひだまりへの来所など。個人情報はお守りしていますが、気になる方は匿名でのご相談もできます。

お気軽にご相談ください。



広報紙「ひだまりニュース 2024年春号」2024.4.30 発行

【編集・発行】千葉県中核地域生活支援センターひだまり 〒294-0014 千葉県館山市山本 1155

TEL.0470-28-5667 FAX.0470-28-5668 E-mail: hidamari@s-taiyou-kai.jp



ひだまりのホームページ